

船舶事故調査報告書

平成23年10月6日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）

委員 庄 司 邦 昭

委員 石 川 敏 行

事故種類	操縦者死亡
発生日時	不明（平成23年2月2日（水） 13時30分ごろ～15時00分ごろの間）
発生場所	不明（静岡県静岡市清水港折戸湾 ^{おりど} の貯木場内）
事故調査の経過	平成23年2月4日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての操縦者からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	ミニボート（船名なし）、不詳 なし、個人所有 不詳、FRP モーター、不詳、不詳
乗組員等に関する情報	操縦者 男性 61歳
死傷者等	死亡 1人（操縦者）
損傷	なし
事故の経過	操縦者は、平成23年2月2日13時00分ごろ、船釣りのため、乗用車に本船を載せて1人で自宅を出発した。 操縦者の家族は、操縦者が夜になっても帰宅せずに連絡も取れないことから捜索したところ、折戸湾の貯木場に面した空き地で操縦者の乗用車を発見した。しかし、操縦者が見付からないことから、22時15分ごろ118番通報を行った。 海上保安部等の捜索により、翌3日00時30分ごろ、貯木場北端付近において、本船が船首を垂直に海面に出した状態で発見され、02時00分ごろ、本船発見場所付近の浅瀬で操縦者が発見された。 検視の結果、操縦者は溺死であり、死亡推定時刻は2日15時00分ごろであった。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南、風力 2、視界 良好 海象：海上 平穏
その他の事項	操縦者は、発見時、救命胴衣を着用していなかった。 本船には、衝突痕等の損傷は認められなかった。 本船は、バス釣り等に使用される電動モーター駆動のミニボートであり、操縦免許及び船舶検査は不要であった。 操縦者の自宅から乗用車の発見場所までは、自動車ですら30分程度の距離であった。

分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>操縦者は、溺死した。</p> <p>本船は、操縦者が自宅を出て清水港折戸湾の貯木場に到着した可能性のある13時30分ごろ以降に出航したのち、操縦者が浅瀬で発見され、死亡推定時刻が15時00分ごろと検案されたことから、この間において、操縦者が落水したものと考えられるが、落水した状況を明らかにすることはできなかった。</p> <p>操縦者は、落水して溺水した可能性があると考えられるが、溺水に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p>
原因	本事故は、本船が清水港折戸湾の貯木場内において出航後、操縦者が落水したことにより発生したものと考えられる。	